

《問い合わせ・申し込み》 水戸センター TEL.029-291-8280 FAX. 029-291-8281

ひたちなか市の広域避難計画に関するの請願活動 最終回



★☆これまでの経過は、6月、9月、1月のブロックニュースをご覧ください。☆☆
(4面の「生活クラブ茨城ホームページ」でも閲覧できます)



私たちが提出した要望（市長へ）、請願（市議会へ）は以下の通り。

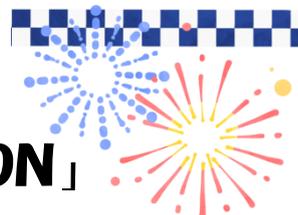
「東日本大震災から13年が経過した、令和6年1月1日に能登半島地震が発生し、原発立地地域に甚大な被害を及ぼしました。道路の寸断、家屋の倒壊、避難所の機能不全などを招き、これまでの広域避難計画では太刀打ちできない多岐にわたる複合災害となりました。ひたちなか市といたしましても、近い将来予想されております大地震に備え、避難先自治体との協議、要配慮者の支援体制、バス等による避難者の把握等、複合災害を想定した広域避難計画の策定には、想像を絶する課題が山積していると拝察いたします。私たち市民といたしましては、課題解決に時間を要することは致し方ない前提で、市民の命と財産を守るため、真に実効性のある広域避難計画の策定を要望いたします。」

これを受けて、2024年12月市議会では「継続審議」。そして、今回2025年3月議会では「不採択」となりました。本会議での賛成議員は「大久保・鶴沢（立憲）、宇田（共産）、井坂涼子・萩原・鈴木道生・清水立雄（新生ふるさと21）、井坂章（社民）」8名でした。

総務生活委員会を傍聴しましたが、「住民の意見として当然のものである」という意見もある中、頑なに反対した議員の理由は2点。①「課題解決に時間を要することは致し方ない」と書いてある。ひたちなか市民なら「早急に作るべき」と願うはず。時間をかけても構わないという市民には自分は会ったことが無い。②「真に実効性のある広域避難計画の策定」を要望するという事は、行政がそうではないものを作ることが前提になっている。行政を信頼していない点が疑問。とのことでした。

①に関しては、請願者である私たちが目の前で傍聴しているにも関わらず、議員がこんなことを言うんだ！と怒りを覚えました。②に関しては言いがかりとしか思えず、私たちのこれまでの活動（広域避難計画についての学習会、講演会の開催には、10年以上前から継続して取り組み続けている）、行政との関係性（市の担当者を招いての学習会も複数回開催）を全否定されたと感じました。反対した議員の言葉は、彼個人の信条というよりも、自分がおもねるべき相手に向けて吐かれていました。

「自分と自分の所属する党の支持者にだけ」向ける、がんばっていますアピール。何年か前までは、表向きだけでも「全市民」「すべての国民」に向けて語るのが政治家だったと思うのですが、近年は、そういうポーズすら取らない事が常態化していて、市議会でもそれは公然と行われているのだと心底がっかりし呆れました。また今回、委員会を傍聴して、「暫時休憩」の間に言いたいことを言って、会議を再開するとだんまりを決め込む議員がいることにも呆れました。記録に残るところで話し合いは行われぬのですね。請願活動としては、これで終了となりますが、議会と行政の動きは引き続き注視していきたいと思えます。



2025年度は…ビジョンフードに注目！

「みんなでパクパクACTION」

新年度が始まりましたね！生活クラブでは上半期、ビジョンフードの利用アップを目指す「みんなでパクパク ACTION」活動を展開していきます。

え？ちょっと待って「ビジョンフード」って、なんだっけ…(。^;))

！はい、お答えします！消費材の中でも「**食の未来を支える基本食材**」のことで、**牛乳・鶏卵・米・畜肉・農産物**になります。

これらは安心安全の「生活クラブ基準」を追求しおおぜいで食べることで、国内自給率の向上や生態系を守ることができる「次世代の食の安全を守る」カギを握っている食材なのです。

ところで、畜肉と言えば…

今年度、**県央ブロック開催の畜肉学習会**テーマ食肉は「**豚肉**」です。
生産者と調整の結果、その開催日がこちら！



豚肉学習会 6月 20日(金)
豚加工肉学習会 10月 3日(金)

※会場は決まり次第お知らせします。
まずはこの日付けを忘れず手帳に書き込んでおきましょう。

6月の豚肉学習会では生産者を会場にお招きし、消費材豚肉と一般市販品との違いや部位バランスを学習するほか、美味しい調理のコツなどを教えていただきます。豚肉を知り尽くした生産者に直接質問できちゃうまたとないチャンスを、どうぞお見逃しなく！！



運営委員会より:環境だより

2025年度

ひまわりプロジェクト



生活クラブでは、「NPO 法人シャローム」が主催する「ひまわりプロジェクト」に2014年から参加してきました。

東日本大震災から14年が経過した現在、福島のことを忘れないために、また持続可能な地域をつくるため、2025年度も復興支援活動として参加の呼びかけを行います。

種からひまわりを育てる(4~6月)→収穫した種を送る(10~11月)→NPO シャロームで障がいのある人たちがひまわり油などの加工品を作ります。

県央ブロック分は15袋です。種をご希望の方は水戸センターまでお電話ください。水戸センター ☎029-291-8280

せっけん類プレゼント 継続中！

生活クラブ茨城では、石けんの良さを知ってもらおうと、妊婦さん、1歳未満のお子さんのいる方に、「**固型せっけん・洗濯用液体せっけん・台所用液体せっけんオレンジ**」をプレゼントしています。使ってみたまさんから「子どもや自分の手荒れが良くなった」「液体なので洗濯に使いやすかった」などの感想が寄せられています。是非この機会にせっけんを使ってみませんか？

お申し込みは下の二次元コード、または水戸センターへお電話ください。



春のおすすめサラダ

気温も天気も変わりやすい春。体調を崩しやすい季節でもあります。新年度で新しい生活がはじまった方も、頑張り過ぎないようにお気をつけ下さいね。

今回は、春におすすめのサラダをご紹介します。さっぱりと、酸味が多めのレシピです。お好みで調整して下さいね。素材が美味しい生活クラブの消費材で作ってみて下さい。調味料もおすすめです。



【スモークサーモンと玉ねぎのマリネサラダ】(材料は2人分)

疲れてやる気がおきないときに～サーモンが気血を増やし、玉ねぎが身体を温めて気血を巡らせます。

材料：スモークサーモンスライスバラ 1 パック、玉ねぎ半分、調味用合わせ酢大さじ 1.5 オリーブオイル大さじ 3/4 ベトナム産ブラックペッパー(あらびき)少々

作り方：玉ねぎはスライスして氷水にさらす。サーモンを一口大に切る。酢とオイルを合わせ、サーモンと玉ねぎをあえる。10分程度おき、味をなじませる。器に盛り、ブラックペッパーを振る。

【重茂産わかめ「春いちばん」ときゅうりの中華サラダ】(材料は2人分)

のぼせやむくみがあるときに～わかめもきゅうりも熱を冷ましむくみをとります。わかめは腫れやできものを改善させる効果も期待できます。身体を冷やし過ぎないように、ドレッシングにしょうがとにんにくを使います。

材料：きゅうり 1 本、わかめ(戻したもの)30g、調味用合わせ酢大さじ 1、丸大豆醤油大さじ半分、ごま油大さじ 1、おろししょうが少量、おろしにんにく少量、ごま辛味オイル少量

作り方：きゅうりをスライスする。戻したわかめを一口大に切る。調味料をすべて混ぜ合わせ、食べる直前に、きゅうりとわかめをあえる。

【にんじんとレーズンのサラダ】(材料は2人分)

目の調子が悪いときに～にんじん、レーズンとも血を補い、目の乾燥を改善させます。おなかにも優しいので、食欲がないときにもおすすめ。

材料：人参 120g、レーズン 40g、調味用合わせ酢大さじ 1、なたね油大さじ 1、粗びき塩胡椒少々

作り方：にんじんの千切りとレーズンを調味料であえる。

※生活クラブ消費材のレーズンは、オイルコーティングなしで料理にも適しています。



地域くらぶ「薬膳の会」代表 国際中医薬膳師 薬剤師 佐野安希子

たすけあい・福祉委員会より

3/1(土) ミニライフプラン講座開催

損害保険のライフプラン講座を展示即売会に合わせて開催、しかも1時間のミニ講座なので気軽に参加してみました。損害保険はある程度の知識はあったのですが、改めて講師の話しを聞く事で私のなかで、制度の再認識や発見があり、参加してよかったです。調理室の調理台を囲んでの講座は、井戸端会議風で気軽に質問も出来るし、1時間と短いながらも内容は盛り沢山、いつもの会議室での講座もよいですが、たまにはこういった形でも良いなと思いました。(水戸市 K)



運営委員会より

県央ブロックには、配達エリア外の日立市にも組合員さんがいて、有志の方がほかの方の消費材も東海地区の班に取りに来ています。日立市在住の組合員さんたちは、日立市の南部に配達拠点ができたらいいね！という思いでまずは「地域くらぶ」を結成しました。

「地域くらぶ ひたち」を立ち上げた組合員Kさんのコメント
日立市在住の組合員と、生活クラブの消費材に興味のある友人で、日立市で初めて「地域くらぶ」を作りました。日立市では、まだ生活クラブの配送が行われていません。それでも消費材が欲しい人達が増えています。皆で生活クラブの消費材を利用できるようになる為にはどうしたら良いか、アイデアを出し合い、活動する「地域くらぶ」にしたいと思っています。

